



## 2学期スタート 校長 川井 まさよ

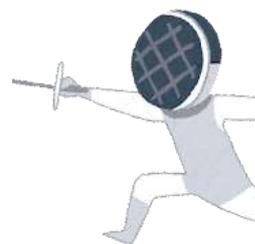
2学期が始まり、1か月が経とうとしています。感染力が強いとされる新型コロナウイルスの変異株の流行が心配される中で、教育活動も今まで以上に厳しい制限を設けて行わなければならない今学期のスタートとなりました。部活動は、大会前2週間については活動の制限がありつつも再開できておりますが、前期委員会活動においては、学年・学級をまたいでの活動とならない方法を模索し、行っている状況です。しかし、校内で交わされる生徒たちの気持ちの良い挨拶や、密に気を付けながらも授業に積極的に参加するなどの様子から、精いっぱい頑張っていることが見てとれます。このように、新学期の学校生活を送ることができていますのも、保護者や地域の皆様のご理解・ご協力があったることと感謝申し上げます。



さて、この夏オリンピック・パラリンピック、東京2020大会での選手たちの姿に、TVなどを通してご家族で応援された方も多いかと思います。大会のコンセプトの一つに、「多様性と調和（一人一人が互いを認め合い共生社会をつくる）」がありましたが、特にパラリンピック大会の際には、そのことに関連付けて、様々な視点からの特集番組や新聞記事が数多く組まれていたように感じます。大会は終わりましたが、「一人一人が互いを認め合い共生社会をつくる」ために、私たち一人一人ができること、何をどう考え、どう取り組んでいけばよいのか、今後も考え、実践していくことはとても大切なことです。

「一人一人が互いを認め合う」には、相手を理解することが必要です。相手を理解するときには、「相手の立場に立って考えなさい」とよく言われます。その際に「もし自分が〇〇さんだったら」と考える人もいますが、この考え方では相手（〇〇さん）の立場ではなく、自分の立場で考えていることになるのです。「相手の立場に立つ」ためには、純粋に「〇〇さんだったら」と考えることが必要で、そのためには、〇〇さんのことについて、様々な視点から考えてみる必要があります。それはとても難しいことだと思います。なぜなら、人はそれぞれ、育った環境や現在の環境、または経験してきたことも違い、その考え方も当然違うはずなのですから……。そういう自分とは違う考え方について、「そういう考え方もある」と受け入れられることが重要です。大会でも「人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障がいの有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩する。」と謳っています。相手や物事について考えるときに、その判断基準が「自分が〇〇さんだったら」というものしかない、「それはこうあるべきだ」とか「こういうはず」という決まったひとつの視点になってしまいます。でも、実は、同じ人がかかわっていたり同じ現象であったりしたとしても、見る角度が違えば様々な面をもち、見方を変えることで、見え方が違ってくることに気付くことができます。

だからこそ、生徒達には良き社会人として、「多面的・多角的なものの見方」を身に付けてほしいと願い、「特別の教科 道徳」を始め、各教科の授業を始めとするあらゆる教育活動の中で、機会をつくり、その力を育てていきます。ご家庭での日々の生活の中でも、TVや新聞、本など、様々な話題や場面で「多面的・多角的なものの見方」を考える機会となるのではないのでしょうか。ぜひ、そのような機会を利用し、親子で話し合われることをお願いします。



パラリンピック大会では、ボッチャなどの競技をTV観戦しましたが、だれでも参加できるように様々なルールや道具などが工夫されているものばかりでした。そして、オリンピックもパラリンピックも、東京2020大会で競技がで



きることに感謝し、全力で挑んでいました。前を向き、できないことではなくできることを考え、どうしたらできるのかを考えていくことで道は切り拓けます。私たちも、このコロナ禍の中でも何をどうしたらできるのかあきらめずに考え、でき得限りの教育活動を行っていきます。保護者の皆様、そして地域の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

余談ですが、8月20日(金)に小金井市で行われたパラリンピック聖火につなげる「小金井の火」採火式が開催され、参列してきました。「小金井の火」は、貫井神社の湧水から種火が作られたそうです。「水」から「火」をどうやって作るのか、会場では動画で紹介されましたが、そのことも興味深かったです。どのように作るのか、興味がある人はぜひ調べてほしいと思います。

### 東京都中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) について

すでに第3学年の保護者の皆様は6月の通知にてご存じかと思いますが、**10月1日(金)**午後、東京都内の**中学校3年生**を対象として、英語スピーキングテストが開催されます。



当日の会場は東京都立多摩科学技術高校、会場までの往路は学校より教員が引率(徒歩)となります。試験の説明や機器の装着・確認時間等を含み受験時間は65分です。感染症対策のため1教室あたり20人以下の受験人数となるため、試験時間が前後半に分かれ、試験終了は15時50分、会場より徒歩による帰宅となります。当日会場敷地内は**不織布マスク**を正しく常時着用することが求められています。なお、このテストは来年度以降、中学3年生を対象とし本格実施となる計画です。

### ICT 機器を用いた授業の取り組み

現在二中では、小金井市 GIGA スクール構想に基づき、一人一台端末 (Chromebook) を活用した授業への取り組みを進めているところです。2学期開始以降、学級閉鎖や学年閉鎖の基準が新たに示され、予断を許さない状況であることから、一層の ICT を活用した授業の取り組みについて進展が必要であると判断しております。そこで、以下の日程にて各家庭と学校とを結ぶオンライン学活の取り組みを行うことにいたしました。

**日時 9月24日(金) 15時10分頃から**

当日は6時間目の授業をカットし、14時20分下校、15時頃からクラスごとに設定されたオンラインミーティングに参加します。部活動がある場合はミーティング終了後再登校となります。Chromebook の貸し出しは金曜日に行い、持ち帰ります。また、持ち帰った Chromebook は月曜日の学校登校時に持参となります。急な連絡で申し訳ありませんが、ご協力をお願いいたします。

### 二中学生の活躍

夏季休業中に行われた大会等の結果です。

ウィンドアンサンブル部 東京都吹奏楽コンクールB組 銀賞

バドミントン部 第113回 小金井市バドミントン選手権大会

シングルス 優勝 小松美咲<3-3> 準優勝 石川里美<3-1>

第三位 長江勝美<3-1> 稲葉結和<3-3>

ダブルス 優勝 小松美咲・長江勝美 組 準優勝 石川里美・遠藤沙音<3-4> 組

第三位 岡本梨李<3-3>・稲葉結和 組

バレーボール部 市内(新人シード)大会 優勝

水泳 竹村俐音<2-4> **関東大会・ジュニアオリンピック**出場!

関東大会…50m自由形(28秒23)

ジュニアオリンピック…4×100メートル自由形リレー8位

いよいよ今週末から中断されていた各部活動の新人戦が始まります。活躍を期待しています!

